

第 26 回北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会

令和 2 年 11 月

1 議 題

「第 8 期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画」の重点施策に係る  
令和 2 年度実施計画の一部変更について

2 審議資料（別添）

- (1) 令和 2 年度実施計画（一部変更）
- (2) 令和 2 年度実施計画変更箇所一覧表

## 第26回北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会委員名簿

### 1 委員

団体名	職名	氏名	備考
根室市	市長	石垣雅敏	
別海町	町長	曾根興三	
中標津町	町長	西村 穰	
標津町	町長	金澤 瑛	
羅臼町	町長	湊屋 稔	
北海道北方領土対策根室地域本部	本部長	遠藤俊充	

### 2 事務局

団体名	職名	氏名	備考
北海道北方領土対策根室地域本部	副本部長	小松靖史	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室長	山田昌弘	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室 主幹(企画振興)	横山敏宏	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室 主任	西章良	

令和2年度実施計画変更箇所一覧表

	施策の基本的な柱及び施策項目	項目	変更内容
根室市	地域の資源を活かした交流人口の拡大	3. 目標設定に向けた事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業のうち、根室管内教育旅行誘致推進事業の使用財源を「地域づくり総合交付金」から「加速化補助金」に変更。
別海町		2. 計画終了時点（R4年度）の目標	重点施策③を追加。
		3. 目標設定に向けた事業の展開方向	「根室管内教育旅行誘致推進事業(加速化補助金)」を追加。
		1. 目指す姿	全面変更
標津町		2. 計画終了時点（R4年度）の目標	新規目標「観光客入込数」を追加。
		3. 目標設定に向けた事業の展開方向	「根室管内教育旅行誘致推進事業(加速化補助金)」を追加。
		2. 計画終了時点（R4年度）の目標	重点施策②を追加。
羅臼町		3. 目標設定に向けた事業の展開方向	「根室管内教育旅行誘致推進事業(加速化補助金)」を追加。

市町名	根室市
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

**1. 目指す姿**

根室地域の滞在型・周遊型観光の確立及び観光振興による観光客入込数の増加を図るとともに、バードウォッチング等の地域特性を活かした体験型・滞在型観光の推進を行うことで都市部との交流人口の増加が図られ、域内活性化に寄与する。

**2. 計画終了時点（R4年度）の目標**

<目標> 観光客年間入込数の増(約400千人/年)

- <重点施策>
- ①バードウォッチング等の地域の恵まれた自然とふれあうエコツーリズム、グリーンツーリズムなど地域資源、地域特性を活かした滞在交流型・体験型観光の推進
  - ②広域観光ルートや観光情報を盛り込んだルートガイドの作成・配付、インターネットをはじめとした広報媒体を活用した観光情報発信の促進
  - ③ネイチャーガイドの養成、案内板、Wi-Fi整備の促進
  - ④観光客の利便性を重視した宿泊施設など施設整備の検討
  - ⑤観光シーズン中に地域の観光地間を結ぶ巡回バスの運行の促進
  - ⑥「地方空港を活用した教育旅行誘致の連携と協力に関する協定」に基づく教育旅行の誘致とそのため受入体制の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
観光客入込数	397,100	370,200	383,579	410,500	388,946	394,391	399,912

■目標設定の考え方

過去の平均入込数と平均伸び率を勘案の上設定(H25～29平均入込数378,280、伸び率1.4%)

<目標> 遊覧船運行事業乗船客数(210人/年)

- <重点施策> バードウォッチング等の地域の恵まれた自然とふれあうエコツーリズム、グリーンツーリズムなど地域資源、地域特性を活かした滞在交流型・体験型観光の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
遊覧船乗船客数	207	143	210	210	210	210	210

■目標設定の考え方

直近の乗船客数に基づき設定

<目 標> 根室市への移住者数(10人/年)

<重点施策> 移住・定住の受入体制づくりの推進

■設定目標及び達成状況 (単位:人)

区分	7期	8期					
年度	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
移住者数	3	5	5	2	5	7	10

■目標設定の考え方

第9期根室市総合計画における成果指標を勘案の上設定

<目 標> 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターにおける交流人口の増加(9,513人)

<重点施策> 多言語表記による案内標識の設置の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:人)

区分	7期	8期					
年度	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
交流人口	8,495	9,000	9,126	10,021	9,253	9,382	9,513

■目標設定の考え方

観光客入込数の伸び率(1.4%)を勘案の上設定

### 3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客 年間入込数 (400千人/年)	○根室地域の滞在型周遊型観光の確立を図るため、観光地の情報発信や観光施設の整備等を行う。	ねむろバードランドフェスティバル開催事業(加速化補助金) ねむろバードランドフェスティバルを開催し、日本有数の野鳥観察地であることを広くPRすることで、観光客の増加を図る。
		根室かに祭り開催事業(加速化補助金) 根室かに祭りを継続開催することにより、観光客入込数増加につながる。道東の限られた地域でしか採れない「花咲がに」の普及・促進により観光客入込数の増加を図る。
		根室さんま祭り開催事業(加速化補助金) 根室さんま祭りを継続開催することにより観光客入込数増加につながる。水揚げ日本一を誇る「根室産さんま」を広くPRし、「根室産さんま」の普及・促進により観光客入込数の増加を図る。
		白鳥台センター整備事業(市単独事業) 多くの観光客が訪れる白鳥台センター(道の駅スワン44ねむろ)を整備することにより、観光客の滞在期間を延ばし、リピーターの増加に期待できる。

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
<p>観光客 年間入込数 (400千人/年)</p>	<p>○根室地域の滞在型周遊型観光の確立を図るため、観光地の情報発信や観光施設の備等を行う。</p>	<p>通年型体験観光事業者支援事業(市単独事業) 通年型体験観光の振興につながる「新たな体験メニューの造成」や「既存の体験メニューの強化及び充実化」に取り組む事業者に対して、補助支援することで観光客の滞在期間を延ばすことが見込める。</p> <p>観光客誘致事業(市単独事業) 観光スポットに近づくと、方向と場所と季節に合わせた音声ガイドにより観光情報等を知ることができる「観光音声ガイドサービス」の導入により、観光客の利便性を図り、近年増加傾向にある外国人観光客を誘客し、リピーターの確保につなげる。</p> <p>根室管内教育旅行誘致推進事業(加速化補助金) 根室管内1市4町が連携のうえ、地域内の資源を有効に活用し、教育旅行誘致推進を図ることで、交流人口の増加が見込める。</p> <p>観光情報発信推進事業(地域づくり総合交付金) 総合的な観光プロモーション動画を作成し、国内外へ観光情報を積極的に情報発信することにより新たな観光客の増加が見込める。</p> <p>観光客受入環境整備事業(推進費補助金) 納沙布岬の老朽化した観光地トイレの洋式化など、受入環境を整備し、利便性を高めることで観光客のリピーターの増加を図る。</p>
<p>遊覧船 乗船客数 (210人/年)</p>	<p>○新たな観光資源を活用し、都市部との交流人口増加及び域内活性化を図る。</p>	<p>歯舞遊覧船観光普及促進運行事業(加速化補助金) 北方領土を間近に望む事ができる海域において、遊覧船を用いたバードウォッチングを実施する事により、都市部との交流人口が増加し域内活性化が図られる。また、都市部でのPR活動を行うことで乗船客数の増加を図る。</p>
<p>根室市への 移住者数 (10人/年)</p>	<p>○移住者の獲得に向けPR・交流事業を推進する。</p>	<p>定住・移住促進事業(市単独事業) 都市部の移住を検討する方々に移住を促すため、移住体験住宅等の移住促進策のPRし、移住者の受入れによる交流人口の拡大と市民との交流を促進する。</p>
<p>ネイチャーセンター 交流人口の増加 (9,513人)</p>	<p>○交流人口の増加を図るため、「春国岱」に英語表記付き案内看板を設置するほか、管内展示物の多言語表記を行う。</p>	<p>春国岱原生野鳥公園管理運営事業(市単独事業) 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターを運営していく上で必要である維持管理や、風蓮湖・春国岱の持続可能な利用を図っていくための普及啓発などを関係機関・団体と連携し取り組む。</p>

市町名	別海町
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

**1. 目指す姿**

野付半島など自然豊かな観光資源を有する別海町にとって、観光は主要な産業のひとつとなっている。これまでも滞在型・体験型の観光資源開発に取り組んできたが、さらなる観光客の誘致をめざし、戦略的に交流人口の拡大を図る。

**2. 計画終了時点（R4年度）の目標**

<目標> 観光客入込数の増加(333千人/年)

- <重点施策>
- ①世界自然遺産「知床」、ラムサール条約湿地や史跡など地域の自然・文化財の観光への活用を目的とした交流施設の整備などの促進
  - ②広域観光ルートや観光情報を盛り込んだルートガイドの作成・配付、インターネットをはじめとした広報媒体を活用した観光情報発信の促進
  - ③「地方空港を活用した教育旅行誘致の連携と協力に関する協定」に基づく教育旅行の誘致とそれのための受入体制の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:千人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
観光客入込数	310	260	319	321	324	328	333

■目標設定の考え方

「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値を勘案の上設定

<目標> 宿泊者数の増加(47千人/年)

<重点施策> 観光客の利便性を重視した宿泊施設など施設整備の検討

■設定目標及び達成状況 (単位:千人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
宿泊者数	35	32	40	34	42	45	47

■目標設定の考え方

「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値を勘案の上設定

### 3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客入込数 (333千人/年)	○滞在型・体験型の観光推進に向け、観光拠点施設等の機能向上を図る。	キャンプ場改修事業(推進費補助金) 自然豊かな環境、景観等を体験でき、尾岱沼市街地及び別海市街地への周遊も期待できる貴重な観光資源であることから、利用満足度を向上し、観光客入込数の増加を図るため、老朽化した施設を計画的に整備し、入込数を増加させる。
		野付半島トイレ整備事業(推進費補助金) 野付半島周辺の老朽化したトイレを整備し、野付・尾岱沼エリアを訪れる観光客の利便性を図り、周遊滞在型の観光を推進する。
		野付半島ネイチャーセンター整備事業(加速化補助金) 野付半島は、年間約11万人の入込みがある別海町最大の観光拠点であり、修学旅行等の団体客も多いことから、団体客ガイド時に使用するイヤホンガイド受信機を整備し、観光客の満足度向上、入込客数増加を図る。
		観光情報整備事業(加速化補助金) 別海町観光パンフレット(日本語版)を増刷し、観光客の利便性を向上させ、入込数を増加させる。
		別海町文化財保存活用整備事業(加速化補助金) 文化財は文化的観光資源としての潜在価値も高いことから、その価値を顕在化することで魅力的な町づくりの一助となることが期待できる。日本最大のチシマザクラと言われる野付の千島桜や保存修理工事が完了した旧奥行臼駅通所を核とする奥行地区文化財の観光への活用により、入込数を増加させる。
		根室管内教育旅行誘致推進事業(加速化補助金) 教育旅行の誘致活動として、首都圏・関西圏でのプロモーション活動(説明会・相談会・訪問)、教育旅行受入体制の強化、連携協定締結事業者と連携した取組を推進する。
		ふるさと交流館補修事業(町単独事業) 「ふるさと交流館」は町内の宿泊施設として重要であり、平成3年の開業より28年が経過していることから、必要最低限の修繕を行い、食事や体験をした後に快適に宿泊できる施設の整備を進め、年間本施設の宿泊者数を増加させる。
宿泊者数 (47千人/年)	○滞在型・体験型の観光推進に向け、観光拠点施設の機能向上を図る。	



市町名	標津町
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

**1. 目指す姿**

サーモン科学館などの周遊観光拠点の改修と併せた機能向上を進めるかたわら、管内の地域資源を活かした体験型観光の強化・PRを行うための基盤整備及びプログラム開発を実施し、根室地域一体となった交流人口拡大を目指す。

**2. 計画終了時点（R4年度）の目標**

<目標> サーモン科学館入館者数(51,500人/年)

<重点施策> 世界自然遺産「知床」、ラムサール条約湿地や史跡など地域の自然・文化財の観光への活用を目的とした交流施設の整備などの促進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
年度			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
入館者数	48,651	45,337	49,791	49,610	50,160	50,830	51,500

■目標設定の考え方

第7期振興計画期間中における最大実績を勘案のうえ設定

<目標> 観光客入込数(計画期間中+5%)

<重点施策> 「地方空港を活用した教育旅行の誘致の連携と協力に関する協定」に基づく教育旅行の誘致とそのため受け入れ態勢の整備の促進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
年度			(実績)		(目標)	(目標)	(目標)
入込数	361,656	299,660	369,060		372,506	376,122	379,739

■目標設定の考え方

第7期振興計画期間末実績を勘案のうえ設定

### 3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
サーモン科学館 入館者数 (51,500人)	○サーモン科学館を含めた施設改修により、鮭を軸とした体験型観光を推進し、周遊型広域観光の促進を図る、	標津サーモンパーク新規魅力づくり事業(地域づくり総合交付金)
		各種イベント等の実施により入館者の確保を図る傍ら、チヨウザメの養殖性能拡大に向けた井戸掘削及び販売等事業の推進を行い、収益事業の拡大と新たな地域資源の確立を目指す。
観光入込数 (+5%増)	○管内連携した教育旅行の誘致と受け入れ態勢の整備により、交流人口の拡大を進める	根室管内教育旅行誘致推進事業(加速化補助金)
		管内1市4町で構成される根室管内教育旅行誘致推進協議会に対する負担金補助で、当該団体により関東・関西圏においてエージェンツや学校関係者へのプロモーション活動や、現地モニターツアーを行うほか、受け入れ態勢の整備等を行う。

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

1. 目指す姿

世界自然遺産「知床」の知名度を生かし、ホエールウォッチング、北方領土視察及び体験型観光の推進と定着を図ることにより、観光客入込とピーターを増大し、通過型観光から滞在型観光へと脱却を図る。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

<目標> 観光客入込数(600千人/年)

<重点施策> ①通年型・滞在交流型観光への転換に向けた近隣地域との広域的なネットワークの形成、海洋ルートを含めた周遊型観光ルートの構築、観光メニュー作成に向けた取組の推進  
 ②「地方空港を活用した教育旅行誘致の連携と協力に関する協定」に基づく教育旅行の誘致とそのための受入体制の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:千人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
観光客入込数	552	509	570	550	580	590	600

■目標設定の考え方

H27～H29の3ヶ年平均入込客数及び伸び率を勘案の上設定

<目標> 修学旅行訪問校(15校)

<重点施策> 通年型・滞在型観光への転換に向けた近隣地域との広域的なネットワークの形成、海洋ルートを含めた周遊型観光ルートの構築、観光メニュー作成に向けた取組みの推進

■設定目標及び達成状況 (単位:校)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1		R2	R3	R4
			(目標)	(実績見込)	(目標)	(目標)	(目標)
修学旅行訪問校	4	4	9	11	11	13	15

■目標設定の考え方

内閣府の成果目標などを勘案の上設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客入込数(600千人)	○観光客の増加を図るとともに、通過型観光から滞在型観光への転換に向け、道内外でのPR活動等を行う。	誘致PR活動事業及び道内外でのPR活動(観光協会実施事業) 首都圏開催での商談会などに参加し、羅臼の魅力をPRすることで観光客拡大を図る。 知床羅臼体験型観光の推進事業(加速化補助金) 当町の地域特性や恵まれた自然環境などの豊富な観光資源を活かした体験型観光などを掲載したパンフレットを道内外のイベントなどで配布し、当町への観光客拡大を目指す。

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客 入込数 (600千人)	○観光客の増加を図るとともに、通過型観光から滞在型観光への転換に向け、道内外でのPR活動等を行う。	HPを活用したPR事業（観光協会実施事業）
		知床羅臼町観光協会でのHP等の情報を更新し、羅臼町の魅力を全国に向け発信する。
		道の駅「知床・らうす」周辺駐車場舗装改良工事業業（推進費補助金）
		道の駅「知床・らうす」の既存駐車場が利用者数に対して手狭なため、隣接する私有地などを町内最大規模の駐車場として舗装整備し、観光客の増加を図る。
		<p style="color: red;">根室管内教育旅行誘致推進事業（加速化補助金）</p> <p style="color: red;">根室管内1市4町で構成される根室管内教育旅行誘致推進協議会が首都圏・関西圏での商談会などに参加し、根室管内への教育旅行誘致を推進する。</p>
修学旅行 訪問校 (15校)	○道内外からの修学旅行訪問客拡大に向けPR活動を行う。	誘致PR活動事業及び道内外でのPR活動（知床羅臼町体験学習推進協議会事業）
		首都圏開催での商談会などに参加し、羅臼の魅力について、パンフレット等を活用してPRを行い、道内外から当町への修学旅行訪問拡大を目指す。
		知床羅臼体験型観光の推進事業（加速化補助金）
		当町の地域特性や地域の恵まれた自然環境などの豊富な観光資源を活かした体験型観光などを掲載したパンフレットを配布し、修学旅行訪問の拡大を目指す。